



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 杉田エース株式会社

コード番号 7635 URL <http://www.sugita-ace.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 裕介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートスタッフ部門長 (氏名) 横井 雅彦 TEL 03-3633-5150

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,833	7.5	144	△0.8	312	32.5	190	120.6
25年3月期第3四半期	32,402	-	145	-	235	-	86	-

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 273百万円 (247.5%) 25年3月期第3四半期 78百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	35.50	-
25年3月期第3四半期	16.09	-

(注) 前第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	25,365	7,425	29.3	1,383.89
25年3月期	25,925	7,291	28.0	1,350.68

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,425百万円 25年3月期 7,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,254	9.5	882	34.8	984	23.2	576	5.3	107.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	5,374,000株	25年3月期	5,374,000株
26年3月期3Q	8,465株	25年3月期	7,687株
26年3月期3Q	5,366,181株	25年3月期3Q	5,367,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想の見直し等の記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や、日銀の金融政策への期待感から、円高の是正や株価の上昇が進み、国内景気は緩やかな回復状況となりましたが、世界経済の不安定要因によるリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

住宅建設業界におきましては、消費税引き上げに伴う駆け込み需要もあって、住宅建設は増加しましたが、好調であった首都圏のマンション総販売戸数に一服感が見られ、予断を許さない状況で推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は34,833百万円（前年同四半期比7.5%増）となり、経常利益は312百万円（同32.5%増）、四半期純利益は190百万円（同120.6%増）となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

商品区分	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	計	構成比
住宅用資材（百万円）	14,108	854	—	14,963	43.0%
ビル用資材（百万円）	13,620	1,532	—	15,152	43.5%
D I Y商品（百万円）	—	—	2,377	2,377	6.8%
O E M関連資材（百万円）	—	—	921	921	2.6%
その他（百万円）	1,188	229	—	1,418	4.1%
合計（百万円）	28,918	2,616	3,298	34,833	100.0%

①ルート事業（住宅用資材・ビル用資材・その他）

住宅用資材は、錠前・丁番・ドアクローザ等が伸長した建具商品、物干金物及びポスト関連商品が伸長したマンション住宅商品、脚立及び金属材料等が伸長した建設副資材がそれぞれ好調に推移し、売上高は14,108百万円（同16.4%増）となりました。

ビル用資材は、点検口商品及び屋上ベランダ商品等が伸長したビル用商品、階段廻り商品が伸長した福祉商品、サイン関連商品及びエクステリア商品が伸長した景観商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は13,620百万円（同6.5%増）となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は28,918百万円（同9.8%増）となりました。

②エンジニアリング事業（住宅用資材・ビル用資材・その他）

住宅用資材は、物干金物及びタラップ関連商品が伸長したマンション住宅用商品は堅調に推移しましたが、建具商品、インテリア商品及び建設副資材が低調に推移し、売上高は854百万円（同22.8%減）となりました。

ビル用資材は、屋上ベランダ廻り商品及び外装商品等が伸長したビル用商品、階段廻り商品が伸長した福祉商品、エクステリア商品が好調であった景観商品がそれぞれ伸長し、売上高は1,532百万円（同4.6%増）となりました。

この結果、エンジニアリング事業全体の売上高は2,616百万円（同6.3%減）となりました。

③直需事業（D I Y商品・O E M関連資材）

D I Y商品は、住宅市場の伸長に伴い、住宅金物、設備金物等の商品が中心に伸長し、売上高は2,377百万円（同16.0%増）となりました。

O E M関連資材は、材料販売、指定施設品が好調でしたが、住宅向け商材が低調に推移し、売上高は921百万円（同24.2%減）となりました。

この結果、直需事業全体の売上高は3,298百万円（同1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下の通りです。

総資産25,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ△560百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が△1,243百万円減少したことによります。

総負債17,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ△694百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が△805百万円減少したことによります。

純資産7,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が93百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日公表いたしました「平成25年3月期 決算短信」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、ヨネミツエース株式会社を第2四半期より連結子会社としております。また、当第3四半期においてトクダエース株式会社を存続会社、マシモエース株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い、平成25年10月1日付けで、トクダマシモエース株式会社に商号変更いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835	1,770
受取手形及び売掛金	15,239	13,996
たな卸資産	2,115	2,485
その他	1,489	1,254
貸倒引当金	△47	△36
流動資産合計	20,632	19,470
固定資産		
有形固定資産	3,792	3,934
無形固定資産	117	154
投資その他の資産	1,384	1,805
固定資産合計	5,293	5,894
資産合計	25,925	25,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,200	14,394
1年内返済予定の長期借入金	527	635
未払法人税等	379	70
引当金	26	19
その他	757	657
流動負債合計	16,890	15,777
固定負債		
長期借入金	873	1,275
退職給付引当金	387	391
役員退職慰労引当金	396	397
その他	85	97
固定負債合計	1,743	2,162
負債合計	18,634	17,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	6,131	6,225
自己株式	△3	△4
株主資本合計	7,234	7,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	97
その他の包括利益累計額合計	13	97
少数株主持分	43	0
純資産合計	7,291	7,425
負債純資産合計	25,925	25,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	32,402	34,833
売上原価	27,839	29,841
売上総利益	4,562	4,991
販売費及び一般管理費	4,416	4,847
営業利益	145	144
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	6	12
仕入割引	72	79
投資事業組合運用益	—	57
その他	34	41
営業外収益合計	115	195
営業外費用		
支払利息	13	16
手形売却損	9	9
その他	2	1
営業外費用合計	24	27
経常利益	235	312
特別利益		
固定資産売却益	—	0
負ののれん発生益	26	58
特別利益合計	26	59
特別損失		
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	252	371
法人税、住民税及び事業税	75	103
法人税等調整額	90	78
法人税等合計	165	181
少数株主損益調整前四半期純利益	86	189
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	86	190

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86	189
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△8	83
その他の包括利益合計	△8	83
四半期包括利益	78	273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78	274
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(百万円)			合計(百万円)
	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	
売上高				
外部顧客への売上高	26,346	2,791	3,263	32,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	—	—	32
計	26,379	2,791	3,263	32,434
セグメント利益	861	48	92	1,002

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,002
全社費用(注)	857
四半期連結損益計算書の営業利益	145

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(百万円)			合計(百万円)
	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	
売上高				
外部顧客への売上高	28,918	2,616	3,298	34,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	191	—	—	191
計	29,109	2,616	3,298	35,025
セグメント利益	666	126	107	901

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	901
全社費用(注)	756
四半期連結損益計算書の営業利益	144

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ルート事業」セグメントにおいて、ヨネミツエース株式会社(平成25年7月1日ヨネミツ産業株式会社より商号変更)の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。企業結合時において、同社の資産・負債の時価を再評価した結果、負ののれんが合計で53百万円発生し、当第3四半期連結累計期間において特別利益(負ののれん発生益)に計上しております。